

日々の作業が楽になる！ クラウドサービス便利帳

第9回

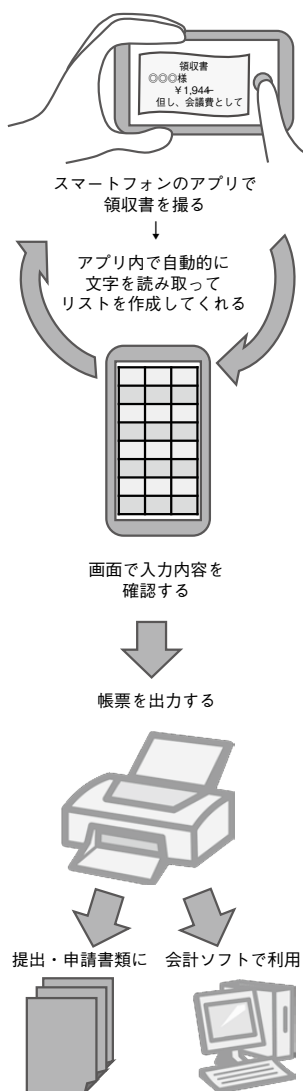
経費精算の入力作業、 自動化できないの？

早稲田大学大学院理工学専修科終了。(株)インクスにて製造系コンサルティング部署に所属。自動車、自動車部品、製品開発領域の業務プロセス改革プロジェクトを担当後、新設の経営企画室に異動。経営会議の運営、役員アクション推進、部門横断プロジェクト管理・推進、新人教育運営に携わる。現在は株スタディストにてクラウド型マニュアル作成ツール「Teachme Biz」の広報、マーケティング、ユーザーサポートを担当。



豆田 裕亮
Yusuke Mameda

■作業手順



●Streamed (ストリームド)

価格：
月額324円(税込)
※無料でお試し可能
提供元：
株クラブス
URL：
<http://streamedup.com>



▽写真からテキストに自動変換
使い方は簡単。領収書を机の上に置き、スマートフォンの専用アプリを立ち上げます。アプリのカメラ機能で写真を撮って、保存するだけ。難しいことは一切ありません。しば

らくすると、勘定科目と金額が入力されます。そして、この作業を買い物のたびにやっておけば、データが蓄積されるといわけです。蓄積したデータはクラウド上に保存されているので、いつでも出力が可能です。CSV形式のデータで出力すれば、そのまま会計ソフトに取り込めるというのは便利な機能でしょう。

このサービスのさらに使いやすいところは、出力時に送付されたメールが帳票形式になっているので、印刷するとそのまま申請書類にもなるのです。経費を申請する側にも、管理者側にも配慮された仕様になっています。

写真を撮るだけで、自動的に文字を認識するという処理ができるようになり、経費処理に限らず、事務作業の手間を減らすクラウドサービスは増えています。ぜひ活用してみてください。

日常の事務作業には面倒で避けられない事務作業が多くあります。特に個人でも会社社でも、月末にやっておきたい経費精算。1カ月分のレシートの束を抱えて、カレンダーを見ながら、いつどこでいくら使ったのか、記憶を遡りながらExcelなどに打ち込む作業をしている方が多いと思います。スタッフが多ければ、その精算業務だけでも多くの時間を割いてしまいます。

そこで今回紹介するのが、月末の入力作業を省いてくれるクラウドサービス、「ストリームド」です。面倒な経費精算を効率的に処理してくれます。

このサービスのさらに使いやすいところは、出力時に送付されたメールが帳票形式になっているので、印刷するとそのまま申請書類にもなるのです。経費を申請する側にも、管理者側にも配慮された仕様になっています。

写真を撮るだけで、自動的に文字を認識するという処理ができるようになり、経費処理に限らず、事務作業の手間を減らすクラウドサービスは増えています。ぜひ活用してみてください。

▽IC乗車券をかざすだけの勤怠・交通費精算

昨年、電車の近距離区間の利用に特化したサービスが発表された。それはクラウド型勤怠管理・交通費精算ソリューション「kincone」だ。IC乗車券を毎朝、専用のカードリーダーにかざすだけで、利用した交通機関の情報を読み取り、交通費の入力手間を省く。カードリーダーとiOS端末だけで運用できるため、導入コストを抑えられる。ちなみ

に、私は「これで月末の憂鬱な経費精算にかかる数時間がなくなる」と思い、採用を決めた。電車での移動が多い方にはお勧めしたい。

●kincone (キンコン)

価格：従業員1人当たり
月額216円(税込)～
提供元：株ソウルウェア
URL：<http://kincone.com>

